

果樹の施肥の時期と方法に関する次の文中のア～エに入るものがいずれも妥当なのはどれか。

施肥は、それぞれの果樹が必要とする要素を、要求する時期に与えなければならない。一般的には元肥・追肥などに分けて施される。

元肥は、果樹の全生育期間にわたって肥効を持続させるとともに、新梢の成長や開花・結実にも役立つように、までに与える。

施用したあとの肥料成分の土壌中での移動は、種類によって異なる。土壌を移動しにくいは、全量を元肥として施用する。は、果実発育中後期に必要であり追肥としても施用するが、流亡しないので、の吸収が正常であれば元肥中心に施用する。一方、は移動・流亡しやすいので、分肥する。

	ア	イ	ウ	エ
1.	4～10月	リン酸	カリウム	窒素
2.	11～3月	窒素	リン酸	カリウム
3.	4～10月	カリウム	窒素	リン酸
4.	11～3月	リン酸	カリウム	窒素
5.	4～10月	リン酸	窒素	カリウム